

# 令和 6 年度 第 6 回 御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 会議録

日 時： 令和 7 年 3 月 5 日(水)

9:30 ～ 16:30

場 所： [提案会]御殿場市林業会館 2 階 第 2 研修室

[選考会]同上

## 1 出席者

[御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 委員] ※敬称略

花山委員、高橋委員、菊池委員、勝又委員、勝亦委員、刈山委員、川村委員、立道委員、  
高瀬委員、芹澤委員、小寺委員、大田委員、尾身委員(午前中のみ出席) 計 13 名

[事務局(市民協働課)]

高村課長、三改木統括、梶副主任

## 2 提案会 [9:30～14:10]

[内容]

令和 7 年度御殿場市市民協働型まちづくり事業補助金の審査・選考にあたり、各事業の事業説明、  
質疑応答等を実施。「御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会」の委員 13 名を審査員として、申請  
のあった市民提案事業 5 事業(新規 2 事業、継続 3 事業)、行政提案事業 1 事業(新規 1 事業)の  
審査を行った。

### 【市民提案事業】

(1) 事 業 名： 「おさんぽパトロール隊」事業[1 年目]

団 体 名： 御殿場ラン&ウォークパトロール隊

市の担当課： くらしの安全課

[質疑応答]

(委員) 少子化も伴って、地域でまとまっての集団登校がなかなか難しいと思います。私の地域  
では、毎日保護者が交通整理を行っているのですが、1 カ月に1回くらいと聞いているの  
で、地域の人たちが見守ってくださるのは非常に良い事業だなと思いました。朝は見守り  
団体がいるのですが、下校の時は、なかなか人の目がなかったりもするので、意識が高  
まるような活動として非常に期待をしております。説明の中では、御殿場西高等学校の美  
術部に腕章のデザインを依頼すると言っていましたが、審査資料にはデザインを市内の  
中高生に依頼すると書いてありますが、それは御殿場西高等学校に限定されますか？

(団体) くらしの安全課に申請書類を提出した後に、どんなところでデザインがお願いできるか打  
合せをした中で、御殿場西高等学校が候補に上がった。

(市担当課) 実際にデザインを受けられるところはどのくらいあるのか考え、市内の高校にお願いさ  
せていただきました。話をしたところ、御殿場西高等学校に前向きなお返事をいただきま  
した。

- (委員) 部活動とかに入部していなくても、個人でイラストを描くことが好きな子とか、将来デザインの仕事に就きたい子とかもいると思うので、市内全体に何かしらの方法で募集がかけられるようにした方が良く感じました。
- (委員) 補助金の申請額が 170,000 円ですが、300,000 円で申請すれば参加者が 50 名ではなく 100 名に出来たと思います。まず、50 名にした理由について教えてください。
- (団体) 初めは、参加者を 20 名から 30 名くらいで考えていました。50 名でも中々ハードルの高い人数だと思っています。人数を 50 名にした理由は、御殿場市が 6 地区あり、その中で大体各地区から 6 名から 7 名くらい来ていただけるという想定で 50 名にしました。
- (委員) 普段お散歩している人は、気軽にお散歩しているだけの人も多いと思います。出来るだけ市の担当課として市民に伝えていただきたいと思います。今年度だけではなく、来年度以降もより参加者を増やしていただけると良いと思います。

- (2) 事業名: #しゅがミト[1 年目]  
団体名: #しゅがミト実行委員会  
市の担当課: 都市整備課

〔質疑応答〕

- (委員) 人口が減ってきている中で、中々町の活性化は難しく、昔から活動している団体も解散しています。それは、若い人たちが興味をもっていないことが原因だと思います。中々世代間の交流ありません。そのように考えていくと、若い人たちが中心に活動していくことは非常に良いことだなと思いました。
- (委員) 過去の活動実績に、イベント運営にボランティアとして、御殿場市出身の 10 代から 20 代の約 20 名の若い人に協力をいただいたと記載されていますが、この人たちをどうやって集めたのか。また、活動の年数を増やしていく中で団体メンバーをどうやって増やしていくのかを教えてください。
- (団体) 団体メンバーは、現在 6 人で増やす予定はありません。この 6 名というのは、1 年をかけて事業を計画し、0 から作り上げていくメンバーなので、特に変える予定はありません。もしもこのイベントが市民やお客様に愛されて大きなイベントになったときには、昨年 20 名だった当日運営のスタッフは増やす必要があるかなと考えています。また、昨年ボランティアを集めた方法は、元々知っていた若い人に直接お声がけさせていただきました。今後お声がけの募集だけでは人数が足りないので、御殿場市内の学校への呼びかけやご縁があったとき等で興味のある方たちを集めていこうと思います。
- (委員) 収支予算書の中で、協賛金が 250,000 円で、協賛用 Tシャツ購入費が 150,000 円になっています。この Tシャツが協賛金と見受けられたのですが、協賛金を募るのか教えてください。
- (団体) 昨年も事業を実施した時に、同じ方法で集めたのですが、チラシに協賛の名前を出すといったような案もありました。実際に、Tシャツといった方法をとらせていただいたのは、現地で買ってくださったお客さんが Tシャツを着てライブ・フェスの感覚で楽しんでいただくというのが目的です。昨年は事前販売のみだったのですが、今年は当日販売したいという声も上がっていたので、イベント中の販売も予定しております。

- (委員) 御殿場駅乙女口が通過点になっているなという感じを受けるので、そういうところで事業を開催することによって滞在時間が長くなります。それを目的に来てもらえるような事業にしてくれるといいなと思っています。出店していただく人たちを募集すると思うのですが、どのように募集していくのか教えていただきたいです。
- (団体) 出店者の募集方法は、昨年出店していただいた 6 店舗については直接お声がけさせていただきます。今年はお店をあと 6 店舗増やすので、Instagram で広報しようと思っています。募集期間は 4 月 1 日から 7 月 1 日まで公募をします。そこから選考させていただいて、選考基準としては特に土地に関係なく私たちのコンセプトにあった料理を出してくれることです。
- (委員) 市民協働型事業で市の税金で、実施していることもあるので、今後イベントに参加した人たちがその店舗に行きたいなと思ってもらうこと、御殿場市内が盛り上がっていただいた方がいいので、あまり市外の店舗ばかりではない方が良いのかなと思います。
- (委員) Instagram の宣伝費というのは、必要なかなと思いました。使い道を教えてください。
- (団体) 昨年実施したものを参考にさせていただいています。昨年は、チラシを 3,000 部刷りました。御殿場市の学校や公共施設、御殿場駅の店舗に置かせていただきました。Instagram を活用することで、予算 30,000 円で 70,000 人の方に届けるようにしようと思っています。

- (3) 事業名: GMTG Meetup[2 年目]  
団体名: GOTEMBA MEETING 実行委員会 交流会部門  
市の担当課: 市民協働課、社会教育課、都市整備課

〔質疑応答〕

- (委員) 社会参加・復帰の方にアプローチしていくと話が合ったと思いますが、アプローチの方法は、Instagram になるのか、行政にお願いをするのか、それ以外に別の方法でやるのかその手法を教えていただきたいです。
- (団体) Instagram や市の広報を引き続き、この市民協働事業で活用していきたいと思っています。後は、参加していただいた方や実行委員会の繋がりの中でも声をかけていきたいです。実は、今回新たに関わってくださった方の中で専業主婦の方がいるのですが、お友達としてゴテンバミーティングへ来てみないかと声をかけて、その結果、実行委員会に参加していただきました。このような事例が 1 人いるので、そういった形で集めていきたいと思っています。
- (委員) 私もゴテンバミーティングに何度か出席しており、年々良くなっているのではないかなと感じています。予算のことで質問ですが、イベントが 4 回行われる中で、食糧費が『1,000 円×30 名×1 回』となっていますが、1 回のイベントで想定しているのか。もう 1 つは、会場費が支出の中でかなり大きく占めていると思いますが、50,000 円は、どこでかかるのかと、もしそこで会場費が全部タダになると使い切らないのかなとか会場費の件について教えてください。
- (団体) 食糧費については、先程のアイスブレイクという形で話題提供の 1 つとして、どこか 1 回で御殿場のお菓子など持ってきて、話が膨らんだらいいなと思います。それも御殿場の魅力再発見ということで考えています。会場費については、今回昼と夜の約 1 日かけて開催

するので、昨年より会場費が上がっているという点が1つです。50,000 円の費用は、開催  
会場で想定しているお店を1日借りた場合の費用になります。根拠としては、今まで利用  
させていただいたその会場が、1日借りて50,000 円だったので予算に載せていただきました。  
実際かかる費用はこれから調整し、必要な分だけ使わせていただければと思います。

(委員) 収支予算書の収入のところに、自己資金25,380 円という参加料がありますが、この積算  
根拠を教えてください。

(団体) 参加料は、今まで入場1,500 円という形でいただいていたので、計算としては、大体各回  
30 名程度に今まで参加していただいているのでその人数で計算しています。それで、こ  
の収支予算書に載っている金額はいただいた参加料の中からこの補助金とプラスして使  
う金額になっています。

(市担当課) 補足で、この補助金自体が市民提案事業の場合、補助対象経費の9割負担となるた  
め、1割は必ず団体が負担することになっています。

(4) 事業名: おもちゃ病院事業[3年目]

団体名: 御殿場おもちゃ病院

市の担当課: 社会教育課

[質疑応答]

(委員) 団体メンバーが16名いらっしゃるということですが、男女比率は、どのようになっていますか。

(団体) 16名の内、女性は2名です。おもちゃドクターとして、修理を行っているのは、全員男性  
です。受付に女性の方が入っています。

(委員) 地域での様々な活動を見ていると、女性が集まる居場所はあるのですが、男性同士が  
交流する居場所が少ないと感じています。今後男性のメンバーを増やしていただいて、男  
性の居場所としての機能も発揮していただくことを期待しています。

(委員) シニア世代と子供たちが交流できる場所だと思います。子供の待合室を作ったことによ  
って交流が減ってしまうことはありますか。子供たちは子供たちだけで遊ぶ感じなのか、  
おもちゃを修理しているシニアの方がいて、一緒に修理しているのかなどを知りたいで  
す。

(団体) 待合室を作ることで交流が減ることはないと思っています。1月に待合室を作ったとき  
も、子供がおもちゃで遊んでいて、裏でドクターがおもちゃを分解するのですが、例えば原  
因が分かったときに「今直しているからおいで」と呼んで「ここはこうするんだよ」とかそうい  
う話ができるようになると思っています。交流がより増えると思っています。

(委員) 資料の中で、ITパスポートと国家資格というのが記載されていて、それを取得するのは  
すごいなと思いました。これは団体メンバーが取るのか、小・中学生の子とかも取得でき  
るのか教えてください。

(団体) 資料の中にある記載は、団体代表者の私が取得したという報告になります。  
実際に、このプログラミング体験会というのを私がやらせていただけるのですが、その中  
である程度知識がある状態で提供したいという思いがあり、取得しました。

- (委員) おもちゃの修理成功率はどのくらいですか。
- (団体) 成功率が高く、9 割から 9 割 5 分くらいです。修理できないのは、基盤が壊れてしまっている時です。高度なおもちゃというのは、メーカーも分からないとか、部品が売っていないときに関してはお手上げです。
- (委員) 認知度が上がっているのを感じます。なので、今後も続けていってほしい活動だなと思っています。運営資金が大変で困っていると思います。現在、市民協働型まちづくり事業を実施した後、続けている団体がどのようにして運営資金を賄っているかを参考にいただければ良いのかなと思っています。1 つの例として、保護猫活動を行った団体は、イオンの黄色レシートの関係で補助金を少しいただいているというような話を聞きました。せっかくのおもちゃ病院なので、自分の家ではもう不要になったおもちゃを次の世代に引き継ぐという形で寄付していただいて、年に数回出来たら、その売り上げを皆さんに寄付していただければ、運営資金に繋がると思います。待合室の取り組みは素晴らしいと思います。来年度おもちゃ美術館ができるので、そういうところで連携して何かできればいいかなと思いますので、これからも頑張ってください。
- (団体) 運営資金のところは、昨年、プログラミング体験会を実施するという話をさせていただいて、けやき館を無料で貸していただいています。毎月実施しているのですが、大体今年で 50,000 円くらいの自己資金が生まれます。おもちゃドクターの中でも様々なスキルを持っている方がいるので、そういう方のスキルを活かしつつ何か市民の皆様にも学んでいただけたらと思います。

- (5) 事業名: こども若者サポート会議[2 年目]  
団体名: ごてんば子ども支援者ネットワーク  
市の担当課: 子育て支援課

〔質疑応答〕

- (委員) 事業説明のところであった統計で、日本が一番低いことはショックですね。自分が子供の頃は、そういう風には感じませんでした。これの原因は何かあるのでしょうか。
- (団体) 私の意見になってしまうのですが、今、発展してきている国が多くなってきています。特にアジアは、子供や若者世代が増えてきています。そういうところと比べるとどうしても少子化で子供の数が減ってきている中で、同じ年代・世代の数が少なくなっていることを感じています。教育の部分は、大きいと思っています。日本の教育というのは非常に素晴らしいマニュアルだと思うのですが、本当に今の子供たちに合っているのかという見直しを国もやっているといます。しかし、子供のニーズの吸い上げとか本当に悩んでいる子供を先生 1 人 1 人がまわらなくなっているのではないかとこのところが大きいかなと思います。子供が減っているのであれば、活躍の場を増やしてあげたいなと思います。
- (委員) 私も中学校の近くにて、子供たちの行動を見ていると、自分より活発で元気に見えます。やはり未来を託していかなければならなくて、前を向いていてもらわないと社会は直らないと思います。大事な活動だと思っていますのでよろしくお願いします。

- (委員) マップが大体出来ているのは、良いなと思いました。3 月に印刷をすると思いますが、審査書類の収支予算書のところに、マップのデザイン更新料が入っていると思います。それは 1 年に 1 回新しくなるということでしょうか。
- (団体) このデザイン更新料というのは、1 回更新するといった計画です。配布先としては、学校を通して年 2 回配布したいと思っています。2 回配布して、それ以外の市町などに置いてもらうものは、1 回にしようと考えています。
- (委員) 紙は 1 回作って、ネットで更新する形ですか。
- (団体) ネットの更新は、まだ決めていません。この予算書に入っている費用は、今年 3 月に印刷したマップに、新しい情報を載せる更新料と、更新したマップの印刷代といったイメージです。

### 【行政提案事業】

- (1) 事業名: 男女共同参画推進シンポジウム 2025 in 御殿場〔1 年目〕  
団体名: CIVIC PRIDE GOTEMBA  
市の担当課: 市民協働課

#### 〔質疑応答〕

- (委員) 過去の活動の中で、2024 年 6 月 10 日御殿場高校トークフォークダンスというのがありますが、実際に、御殿場高校の生徒及び地域の大人がどのくらい参加しましたか。
- (団体) 当日高校生にお休みの方もいて、高校生が 95 名くらい、大人の方が 105 から 110 名いらっしゃいました。実際に、地域の大人で高校生と 1 対 1 でコミュニケーションを取ってもらったのが、95 名くらいになります。
- (委員) 地域の大人に対して、集まるようにどのような PR をされましたか。
- (団体) SNS の発信や普段から繋がりのある団体にお声がけをさせていただきました。
- (委員) 仕事をしたい人が様々な社会活動に参加すること、男女平等で参加してもらうことは良いことです。ところが、事業計画が女性は家事ではなく仕事に就けようという風に感じます。やはり子育てに専念したい女性もいます。それも 1 つの多様性だと思います。そういうのを無視して働けというのは違うと思います。皆さんが本当に楽しく生活できる社会を目指してもらえればいいと思います。
- (団体) まさにその通りだと思います。女性全員が働かなければいけないというのはもちろん違うと思いますし、その人が望むような働き方、ワークライフバランスとか生き方がより実現できるような御殿場市になっていくと、本当に御殿場市に住んでいて良かったという人も増えると思います。なので、実際に家事育児のバランスというのは、夫婦同士が決めていくことでもあるので、例えばこのシンポジウムに女性だけじゃなくて、旦那さんも一緒にこれからの家庭について考えていこうというような話し合いが出来るワークショップにデザインしていくのもいいのかなと思いました。
- (委員) 会員数が追加となった話がありましたが、新しく入った方の年齢層や男女比について知りたいです。後、収支予算書の中に委託料で、撮影係とありますが、これはどなたがやられる想定ですか。

- (団体)        まず会員数のところですが、1人は20代前半のフリーランスで働かれている女性の方、その他の2人は御殿場市に住んでいる大学生になっています。これから、もう少し増やしていきたいなと思っています。撮影係は、外部に委託しようと思っています。せっかく予算をかけてやる事業になるので、その様子や会議で議論しているところの様子を写真で撮り、今後の御殿場市のPRに活用していただけるような良い写真になればと思います。
- (委員)        男女共同参画推進シンポジウムを実施することが1つのゴールだと思いますが、その後どのように進めていくのか知りたいです。
- (団体)        シンポジウム実施後は、具体的なアイデアや意見をリストにして、市民協働課へ共有します。後は、今後のスケジュールにも記載させていただいたのですが、団体のコンセプトが誰もやらないなら自分たちでやってみようになっています。例えば、これを行政でやるには少し時間がかかるものについては、団体がスモールスタートして、実績を積んでいきたいと考えております。

### 3 選考会〔14:30～16:30〕

#### 〔内容〕

公開提案会での事業説明及び質疑応答の状況、審査書類の内容、公開提案会を受けての採点結果(順位付)等を踏まえて、各事業の内容について協議し、補助金交付の可否や補助金額について決定。

**はじめの一步事業** 1事業は、交付申請額の通り、採択した。

**市民提案事業** 5事業は、交付申請額の通り、採択した。

**行政提案事業** 1事業は、交付申請額の通り、採択した。